

安達太良山の火山活動解説資料（平成22年 7 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～2）

若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、沼ノ平火口付近の噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4～5）

GPS 連続観測では、火山活動によると思われる変化は観測されませんでした。



図 1 安達太良山 遠望カメラによる映像（7月28日15時00分頃）

若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラからの映像。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 8 月分）は平成 22 年 9 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

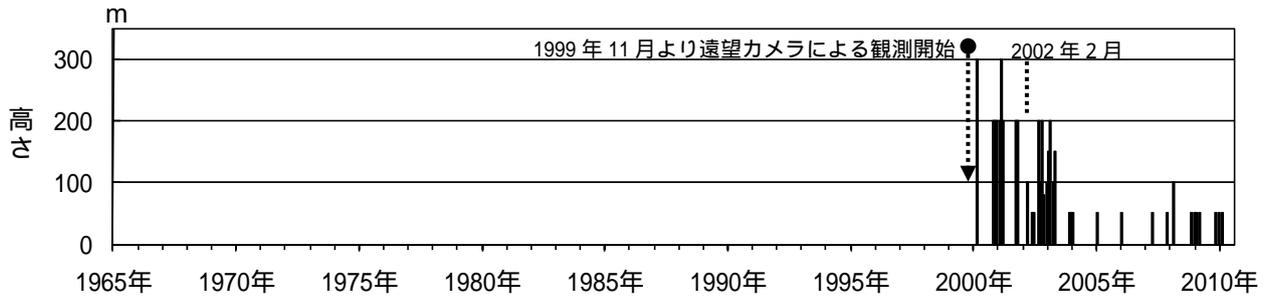


図2 安達太良山（沼ノ平）月別最大噴気高（1999年11月～2010年7月）

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

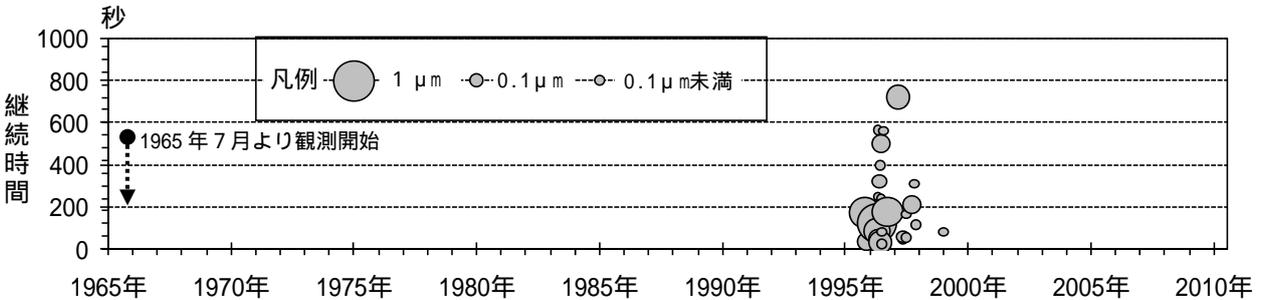
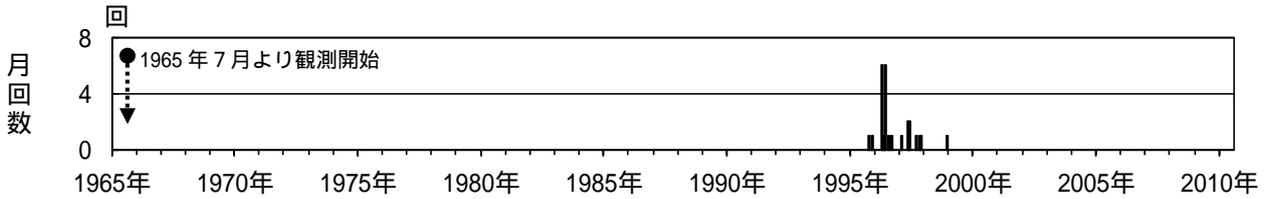
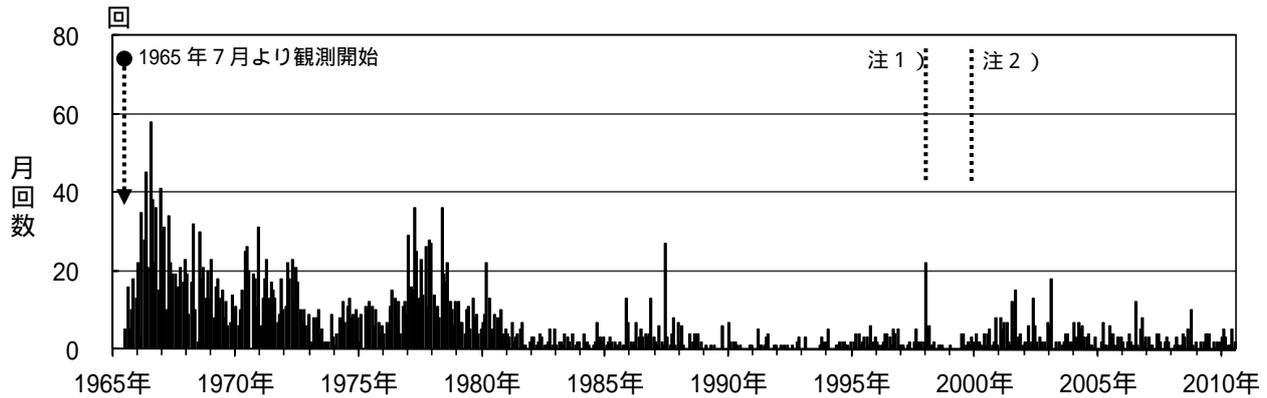


図3 安達太良山 上段：月別地震回数（1965年7月～2010年7月）

中段：月別微動回数（1965年7月～2010年7月）

下段：微動の継続時間と上下動最大振幅（1965年7月～2010年7月）^{注3)}

注1) 1998年より検測基準を S-P 5 秒以下から S-P 2 秒以下に変更しました。

注2) 1999年10月にB点を新設し、基準観測点をA点（沼ノ平から東北東約6km）からB点（沼ノ平から東北東約3km）に変更しました。

注3) A点による。

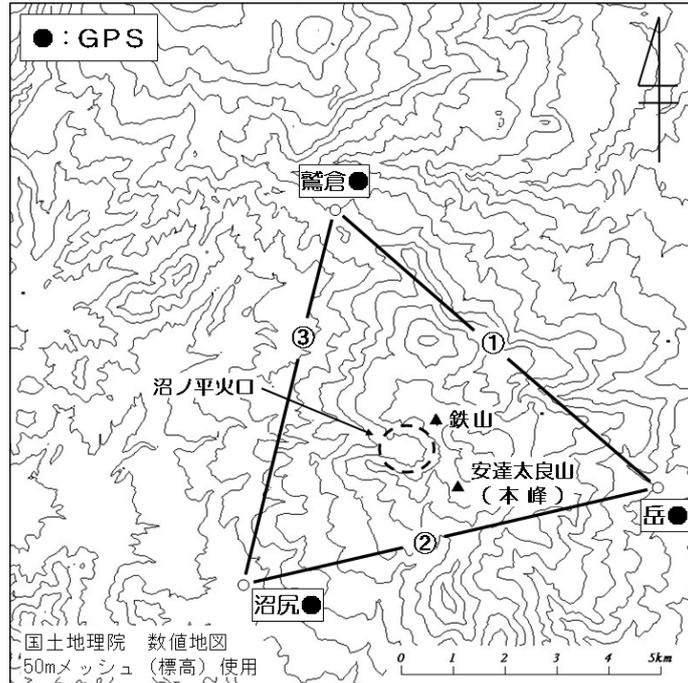


図4 安達太良山 GPS観測点配置図
GPS基線 ~ は図5の ~ に対応します。

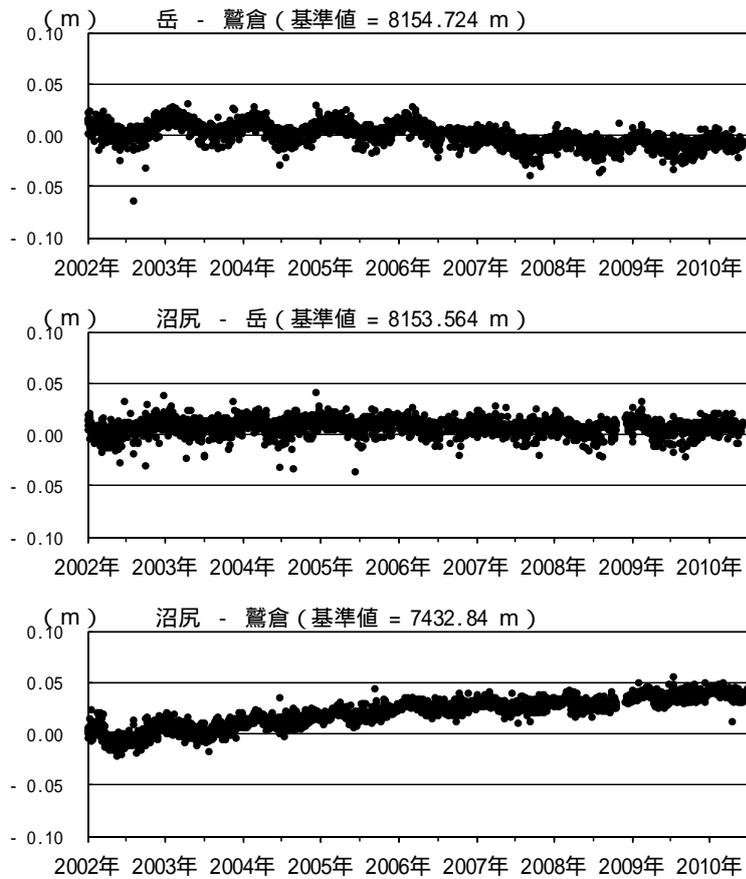


図5 安達太良山 GPS基線長変化図(2002年1月~2010年7月)
~ は図4のGPS基線 ~ に対応しています。
岳観測点と沼尻観測点が障害のため、一部に欠測があります。

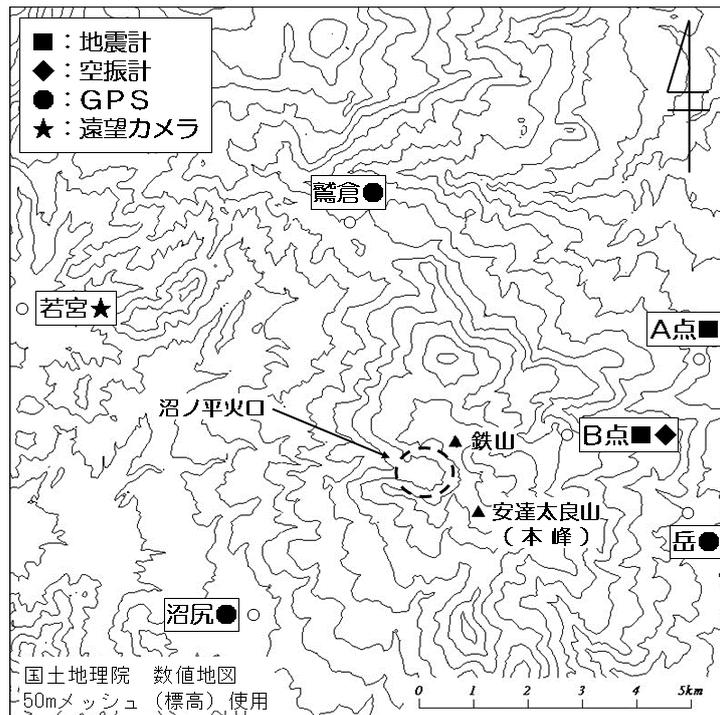


図 6 安達太良山 従来の火山観測点名称の観測点配置図
 （小さな白丸は観測点位置を示しています）



図 7 安達太良山 新しい観測点名称を使用した観測点配置図
 （小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。
 また、運用開始前の観測点も含まれます。）

気象庁では、2010年8月2日12時より火山観測点の名称を変更しました。
 この観測点配置図では、気象庁の観測点を新しい名称で記載します。
 観測点配置図の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。